# 売却

**【重要性：A】**

**ＰＯＩＮＴ！**

**売却時の仕訳をマスターしよう！**

**主な勘定科目**

**「固定資産売却益」勘定（収益）**

**「固定資産売却損」勘定（費用）**

有形固定資産を売却した場合、有形固定資産という資産が減少するので、具体的な「有形固定資産」勘定（資産）及び「減価償却累計額（げんかしょうきゃくるいけいがく）」勘定（資産のマイナス）の減少として処理します。

売却時の帳簿価額（ちょうぼかがく）より高く売却した場合は、売却時の帳簿価額と売却価額の差額を「**固定資産売却益（こていしさんばいきゃくえき）**」勘定（**収益**）として処理します。また、売却時の帳簿価額より安く売却した場合は、売却時の帳簿価額と売却価額の差額を「**固定資産売却損（こていしさんばいきゃくそん）**」勘定（**費用**）として処理します。なお、帳簿価額とは、取得原価から減価償却累計額を控除した金額をいいます。

帳簿価額 ＜ 売却価額（**高く売却**） → 固定資産売却**益**（収益）
帳簿価額 ＞ 売却価額（**安く売却**） → 固定資産売却**損**（費用）

### （１）期首売却

期首に売却した場合には、当期の減価償却費（げんかしょうきゃくひ）の計上は行いません。したがって、売却時の帳簿価額は以下の式で算定します。

**売却時の帳簿価額 ＝ 取得原価 － 期首減価償却累計額**

**例題** **当期首において、備品（取得原価10,000円、期首の減価償却累計額4,000円）を5,500円で売却し、代金は現金で受け取った。間接法を採用している。**

売却時の帳簿価額＝取得原価10,000－期首減価償却累計額4,000＝6,000

備品という資産が減少するので、取得原価10,000円を「備品」勘定（資産）から減少させ、減価償却累計額4,000円を「備品減価償却累計額」勘定（資産のマイナス）から減少させます。

また、売却時の帳簿価額より安く売却していますので、売却時の帳簿価額6,000円と売却価額5,500円との差額500円は「固定資産売却損」勘定（費用）として処理します。

| 借 方 科 目 | 金　額 | 貸 方 科 目 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| **備品減価償却累計額** | **4,000** | **備　　品** | **10,000** |
| **現　　金** | **5,500** | | |
| **固 定 資 産 売 却 損** | **500** | | |

**例題**　**当期首において、備品（取得原価10,000円、期首の減価償却累計額4,000円）を6,300円で売却し、代金は現金で受け取った。間接法を採用している。**

売却時の帳簿価額＝取得原価10,000－期首減価償却累計額4,000＝6,000

売却時の帳簿価額より高く売却していますので、売却価額6,300円と売却時の帳簿価額6,000円との差額300円は「固定資産売却益」勘定（収益）として処理します。

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| **備品減価償却累計額** | **4,000** | **備品** | **10,000** |
| **現金** | **6,300** | **固定資産売却益** | **300** |

## （2）期中売却

期中に売却した場合には、期首から売却時までの使用期間に対応した減価償却費を計上します。したがって、売却時の帳簿価額は以下の式で算定します。

**売却時の帳簿価額 ＝ 取得原価 － 期首減価償却累計額**
**－ 期首から売却時までの減価償却費**
**＝ 取得原価 － 売却時の減価償却累計額**

**例題**　**備品（取得原価10,000円、期首の減価償却累計額4,000円、期首から売却時までの減価償却費1,500円）を4,000円で売却し、代金は現金で受け取った。間接法を採用している。**

売却時の帳簿価額＝取得原価10,000－期首減価償却累計額4,000
－期首から売却時までの減価償却費1,500＝4,500

期首から売却時までの減価償却費を「減価償却費」勘定（費用）の増加として処理します。備品という資産が減少するので、取得原価10,000円を「備品」勘定（資産）から減少させ、期首の減価償却累計額4,000円を「備品減価償却累計額」勘定（資産のマイナス）から減少させます。

売却時の帳簿価額より安く売却していますので、売却時の帳簿価額4,500円と売却価額4,000円との差額500円は「固定資産売却損」勘定（費用）として処理します。

| 借 方 科 目 | 金　額 | 貸 方 科 目 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| **備品減価償却累計額** | **4,000** | **備　品** | **10,000** |
| **減 価 償 却 費** | **1,500** | | |
| **現　金** | **4,000** | | |
| **固 定 資 産 売 却 損** | **500** | | |

この仕訳は以下のように分解するとわかりやすいでしょう。

・期首から売却時までの減価償却費の計上

| | | | |
|---|---|---|---|
| 減 価 償 却 費 | 1,500 | 備品減価償却累計額 | 1,500 |

・減価償却費の計上後に売却

| | | | |
|---|---|---|---|
| 備品減価償却累計額 | 5,500 | 備　品 | 10,000 |
| 現　金 | 4,000 | | |
| 固 定 資 産 売 却 損 | 500 | | |

**例題**　**備品（取得原価10,000円、期首の減価償却累計額4,000円、期首から売却時までの減価償却費1,500円）を4,800円で売却し、代金は現金で受け取った。間接法を採用している。**

売却時の帳簿価額＝取得原価10,000－期首減価償却累計額4,000
－期首から売却時までの減価償却費1,500＝4,500

売却時の帳簿価額より高く売却していますので、売却価額4,800円と売却時の帳簿価額4,500円との差額300円は「固定資産売却益」勘定（収益）として処理します。

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| **備品減価償却累計額** | **4,000** | **備品** | **10,000** |
| **減価償却費** | **1,500** | **固定資産売却益** | **300** |
| **現金** | **4,800** | | |

この仕訳は以下のように分解するとわかりやすいでしょう。

・期首から売却時までの減価償却費の計上

減価償却費　1,500 / 備品減価償却累計額　1,500

・減価償却費の計上後に売却

| | | | |
|---|---|---|---|
| 備品減価償却累計額 | 5,500 | 備品 | 10,000 |
| 現金 | 4,800 | 固定資産売却益 | 300 |

# 月次決算

**【重要性：B】**

**ＰＯＩＮＴ！**

**①　月次決算の内容を理解しよう！**

**②　減価償却の金額の算定をマスターしよう！**

**主な勘定科目**

**「減価償却費」勘定（費用）**

**「減価償却累計額」勘定（資産のマイナス）**

これまでは、年に一度決算を行うことを前提とした会計処理を学習してきました。しかし、刻々と変化する経営状況に対応するため、経営成績を月単位で把握する会社が多いです。この月単位で月次の利益を算定することを「**月次決算**（げつじけっさん）」といいます。

月次決算を採用している場合、年度末に行っていた決算整理仕訳を毎月の月次決算で行いますが、減価償却費など年単位で計算される金額は１年間の減価償却費を見積もり、それを12ヶ月で割った金額を毎月の月次決算で計上します。なお、日商簿記3級では月次決算に関して、**減価償却費の月次決算の処理**が出題されます。

**例題** **建物（取得原価120,000円、残存価額ゼロ、耐用年数20年、定額法、前期首に取得）に関して、9月の月次決算で減価償却費を計上する（3月決算）。**

① ９月月次決算整理前残高試算表

月次決算を行っている場合、前月（8月）までの減価償却費が計上されています。

9月月次決算整理前残高試算表（一部）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 建　物 | 120,000 | 建物減価償却累計額 | 8,500 |
| 減価償却費 | 2,500 | | |

減価償却費：120,000÷20年÷12ヶ月×5ヶ月
＝4月から8月までの減価償却費2,500

建物減価償却累計額：期首建物減価償却累計額6,000(＝120,000÷20年)
＋4月から8月までの減価償却費2,500＝8,500

② 9月の月次決算整理仕訳

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| **減価償却費** | **500** | **建物減価償却累計額** | **500** |

減価償却費：120,000÷20年÷12ヶ月＝500

③ ９月月次決算整理後残高試算表

9月月次決算整理後残高試算表（一部）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 建　物 | 120,000 | 建物減価償却累計額 | 9,000 |
| 減価償却費 | 3,000 | | |

減価償却費：120,000÷20年÷12ヶ月×6ヶ月
＝4月から9月までの減価償却費3,000

建物減価償却累計額：期首建物減価償却累計額6,000(＝120,000÷20年)
＋4月から9月までの減価償却費3,000＝9,000

# 修繕

【重要性：B】

**ＰＯＩＮＴ！**

**①　固定資産の修繕等に関して、費用として処理するのか、資産として処理するのか、その違いを理解しよう！**

**②　修繕等に関する仕訳をマスターしよう！**

**主な勘定科目**

**「修繕費」勘定（費用）**

固定資産を取得した後に、修繕や改良等を行うことがあります。

これらの修繕や改良等に関する支出は以下の２つに分類できます。

**①　固定資産の使用可能期間を延長させたり、価値を高めるもの**

**②　固定資産の機能の回復や現状を維持するためのもの**

①については、固定資産の価値が高まるため、固定資産として処理します。なお、このことを「**資本的支出**（しほんてきししゅつ）」といいます。

②については、固定資産の価値は高まっておらず、現状維持のための費用であるため、「**修繕費**（しゅうぜんひ）」勘定（費用）で処理します。なお、このことを「**収益的支出**（しゅうえきてきししゅつ）」といいます。

**例題**　**建物の改良と修繕を行い、代金300,000円を当座預金口座から支払った。そのうち、建物の資産価値を高める支出額が200,000円、建物の現状維持のための支出額が100,000円であった。**

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| **建物** | **200,000** | **当座預金** | **300,000** |
| **修繕費** | **100,000** | | |

# 有形固定資産 問題

問題1　以下の取引に関して、仕訳を行いなさい。なお、決算日は12月31日であり、減価償却の記帳方法は間接法を採用している。

2030年1月1日
備品845,000円を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。また、運送料として5,000円を現金で支払った。
2030年12月31日
決算日となり、減価償却（定額法、残存価額：取得原価の10%、耐用年数５年）を行う。
2031年1月1日
2030年1月1日に取得した備品のうち取得原価100,000円を70,000円で売却し、代金は現金で受け取った。
2031年3月31日
2030年1月1日に取得した備品のうち取得原価200,000円を170,000円で売却し、代金は小切手で受け取った。
2031年12月31日
決算日となり、減価償却（定額法、残存価額：取得原価の10%、耐用年数５年）を行う。

問題2　以下の取引に関して、間接法を採用している場合における車両勘定と減価償却累計額勘定への転記を行いなさい。なお、車両について、定額法（残存価額ゼロ、耐用年数6年）により減価償却を行う。また、決算日は3月31日である。

1月1日　車両720,000円を購入し、代金は現金で支払った。
3月31日　決算にあたり、減価償却を行う。

問題3　以下の取引に関して、間接法を採用している場合における車両勘定と減価償却累計額勘定への転記を行いなさい。なお、車両について、定額法（残存価額ゼロ、耐用年数6年）により減価償却を行う。また、決算日は3月31日であり、当社は月次決算を行っている。

1月1日　車両720,000円を購入し、代金は現金で支払った。
1月31日　月次決算にあたり、減価償却を行う。
2月28日　月次決算にあたり、減価償却を行う。
3月31日　決算にあたり、減価償却を行う。

# 有形固定資産 答案用紙

**問題1**

| 2030年 | 借 方 科 目 | 金　　額 | 貸 方 科 目 | 金　　額 |
|---|---|---|---|---|
| 1/1 | | | | |
| 12/31 | | | | |

| 2031年 | 借 方 科 目 | 金　　額 | 貸 方 科 目 | 金　　額 |
|---|---|---|---|---|
| 1/1 | | | | |
| 3/31 | | | | |
| 12/31 | | | | |

**問題2**

**車　　　　両**

| 日付 | | 摘　　要 | 借　方 | 日付 | | 摘　　要 | 貸　方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | |

**減価償却累計額**

| 日付 | | 摘　　要 | 借　方 | 日付 | | 摘　　要 | 貸　方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | |

**問題3**

**車　　　　両**

| 日付 | | 摘　　要 | 借　方 | 日付 | | 摘　　要 | 貸　方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | |

**減価償却累計額**

| 日付 | | 摘　　要 | 借　方 | 日付 | | 摘　　要 | 貸　方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

# 有形固定資産　解答解説

**問題1**　**解答**

| 2030年 | 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|---|
| 1/1 | 備品 | 850,000 | 当座預金<br>現金 | 845,000<br>5,000 |
| 12/31 | 減価償却費 | 153,000 | 減価償却累計額 | 153,000 |

| 2031年 | 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|---|
| 1/1 | 減価償却累計額<br>現金<br>固定資産売却損 | 18,000<br>70,000<br>12,000 | 備品 | 100,000 |
| 3/31 | 減価償却累計額<br>減価償却費<br>現金 | 36,000<br>9,000<br>170,000 | 備品<br>固定資産売却益 | 200,000<br>15,000 |
| 12/31 | 減価償却費 | 99,000 | 減価償却累計額 | 99,000 |

**問題1**　**解説**

2030年1月1日　取得原価：購入代価845,000＋付随費用5,000＝850,000

2030年12月31日　取得原価850,000×0.9÷5年＝153,000

2031年1月1日　減価償却累計額：100,000×0.9÷5年＝18,000
売却時の帳簿価額：100,000－減価償却累計額18,000＝82,000
固定資産売却損：帳簿価額82,000－売却価額70,000＝12,000

2031年3月31日　減価償却累計額：200,000×0.9÷5年＝36,000
減価償却費：200,000×0.9÷5年÷12ヶ月×3ヶ月＝9,000
売却時の帳簿価額：200,000－減価償却累計額36,000
－期首から売却時までの減価償却費9,000＝155,000
固定資産売却益：売却価額170,000－帳簿価額155,000＝15,000

なお、売却の仕訳は以下のように分解するとわかりやすいでしょう。

・期首から売却時までの減価償却費の計上

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| 減価償却費 | 9,000 | 減価償却累計額 | 9,000 |

・減価償却費の計上後に売却

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| 減価償却累計額 | 45,000 | 備品 | 200,000 |
| 現金 | 170,000 | 固定資産売却益 | 15,000 |

2031年12月31日　取得原価(850,000－100,000－200,000)×0.9÷5年＝99,000

**問題2**　**解答**

**車　　両**

| 日付 | | 摘　要 | 借　方 | 日付 | | 摘　要 | 貸　方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 現　　　金 | 720,000 | | | | |

**減価償却累計額**

| 日付 | | 摘　要 | 借　方 | 日付 | | 摘　要 | 貸　方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 3 | 31 | 減 価 償 却 費 | 30,000 |

**問題2**　**解説**

車両の購入

| 借方科目 | 金　額 | 貸方科目 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| **車　　両** | **720,000** | **現　　金** | **720,000** |

減価償却費：720,000÷6年÷12ヶ月×3ヶ月＝30,000

| 借方科目 | 金　額 | 貸方科目 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| **減 価 償 却 費** | **30,000** | **減価償却累計額** | **30,000** |

**問題3**　**解答**

**車　　　両**

| 日付 | | 摘　　要 | 借　方 | 日付 | | 摘　　要 | 貸　方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 現　　　金 | 720,000 | | | | |

**減価償却累計額**

| 日付 | | 摘　　要 | 借　方 | 日付 | | 摘　　要 | 貸　方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 | 31 | 減 価 償 却 費 | 10,000 |
| | | | | 2 | 28 | 減 価 償 却 費 | 10,000 |
| | | | | 3 | 31 | 減 価 償 却 費 | 10,000 |

**問題3**　**解説**

車両の購入

| 借方科目 | 金　額 | 貸方科目 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| 車　　両 | 720,000 | 現　　金 | 720,000 |

1ヶ月あたり減価償却費：720,000÷6年÷12ヶ月＝10,000

・1月31日

| 借方科目 | 金　額 | 貸方科目 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| 減 価 償 却 費 | 10,000 | 減価償却累計額 | 10,000 |

・2月28日

| 借方科目 | 金　額 | 貸方科目 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| 減 価 償 却 費 | 10,000 | 減価償却累計額 | 10,000 |

・3月31日

| 借方科目 | 金　額 | 貸方科目 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| 減 価 償 却 費 | 10,000 | 減価償却累計額 | 10,000 |